

★ 提案16の賛成意見 ★

提案16への賛成は、California州住民全員に平等な機会が提供されることを意味します。

私たちの全員が、公平な賃金、良い仕事、品質の高い教育を得て豊かに暮らすための平等な機会を得るに値します。国内で最も多様性の豊かな州で暮らしているにもかかわらず、California州で富と権力を持つ地位においては依然として白人男性が過剰な割合を占めています。女性、特に多様な肌の色の女性が新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対応の最前線に立っているにもかかわらず、その苦勞は報われていません。女性は男性と同様に成功する機会を持つべきです。

今日、ほぼすべての公共契約とそれに伴う雇用が、年配の白人男性の運営する大企業によって獲得されています。男性への支払いが1ドルの場合、白人女性には80¢セントが支払われています。この賃金格差は多様な肌の色の女性やシングルマザーではより大きくなります。結果として、一握りのエリートがコミュニティに富を投資することなく、それを貯め込むことになります。提案16は、女性や多様な肌の色の人々に契約を結ぶ機会を開放するものです。

私たちは中小企業が国の経済の主軸であることを理解しています。しかし、女性や多様な肌の色の人々が所有する主な事業は、現行の法律のせいで、毎年\$11億以上もの政府関連の契約のチャンスを失っています。私たちは、特に新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) からの復興のため、このような中小企業を支援する必要があります。富はコミュニティに投資として還元されます。

提案16に賛成することで、すべての人に平等な機会が与えられ、より強力なCalifornia州を再構築できます。

提案16に賛成することは、以下の意味があります。

- 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の中で社会に不可欠な介護や最前線での働き手として割合が不均衡に高い、女性および多様な肌の色を持つ女性を支援する
- 性別、人種、民族性に関わらず、平等な賃金、良い仕事、質の高い教育へのアクセスをすべてのCalifornia州住民に拡大する
- 私たち全員に提供されるべき政府関連の事業を引き受けられるよう、女性や、多様な肌の色の人々の機会を創出する

- California州のすべての子どものために、K-12と高等教育の両方で質の高い教育へのアクセスを向上させる
- 差別防止の措置をとり、すべての人に平等な機会を確保する

- すべての人が平等に扱われる経済を再構築する
- 裕福な人がより裕福になる状況を維持するのではなく、コミュニティに投資して富を還元する
- 強力な反差別法の有効な状態を維持する

私たちは今、信じられないような歴史的瞬間を生きています。2020年、私たちは、前例のないほど大勢のCalifornia住民が構造的な人種差別に対して行動し、真の変化を支援する声をあげるのを目にしてきました。

それと同時に、この私たちの共通価値観はトランプ政権の行政施策から攻撃を受けています。公然の人種差別が増加しています。白人至上主義の発展、ラテン系移民を日常で悪者と決めつけること、黒人に対する公道での銃撃、アジア系住民に対する増悪犯罪の増加、女性の権利に対する攻撃、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による地元コミュニティの荒廃などです。

提案16に賛成を投票することで、California州住民は、トランプ政権の人種差別的指針を跳ね返す措置をとることができます。

提案16に賛成投票を行うことで、California州住民は、人種差別や性差別を跳ね返す措置をとり、全員により公平で公正な州を作ることができます。

平等な機会は重要です。提案16に賛成を。

VoteYesOnProp16.org

CAROL MOON GOLDBERG、代表

League of Women Voters of California (California女性有権者同盟)

THOMAS A. SAENZ、代表

Mexican American Legal Defense and Educational Fund

EVA PATERSON、代表

Equal Justice Society

★ 提案16の賛成意見に対する反論 ★

TOM CAMPBELL: 「この提案は、California州の公立大学による特定人種の学生の入学支援を理由に、他の人種の学生を締め出すことを許容するものです。これは現行法では認められていません。Berkeley (カリフォルニア大学バークレー校) ハース・スクール・オブ・ビジネスは、マイノリティの卒業生の採用について最高の評価を得ましたが、私たちは人種に頼らずにこれをやり遂げました。寄付者、卒業生、政治家の子女を優遇したこともありません。私たちは厳しく実力を見極めます。それこそが、維持すべきあり方です。(私は民主党でも共和党でもありません。)」

LEO TERRELL: 「私は黒人男性で、30年間人権弁護士をしています。これまでずっと民主党でしたが、今は無党派です。提案16は、政府の資金を使用する詐欺です。政治的につながりを持ち、高額入札を行う請負業者のうち、自らを『マイノリティ』であるとする人物、もしくは、うわべを飾るためだけにいわゆる『マイノリティ』を雇用している人物に利益をもたらす提案です。納税者は騙されています。また、私たちは政府関連の雇用、昇進、解雇において、ある人種が他の人種よりも優遇されることを求めています。教育については、人種にかかわらず、教育を必要としている人を助けるべきです!」

KALI FONTANILLA: 「私の父はジャマイカからの移民ですが、私は貧困家庭でシングルマザーの母に育てられました。夫はメキシコとプエルトリコのミックスです。私たちはこの多民族性を誇りに思っています。University of California (カリフォルニア大学) にて複数の分野で優等学位を取得した卒業生として、私はComptonの黒人学生の家庭教師をしてきました。また現在は、ラテン系の学生が、マイノリティ枠ではなく、私と同様に実力でカリフォルニア大学に入学できるようサポートしています! 提案16は、大きく後ろへ下がる一歩です。支援すべき学生を傷つけることになります。基準を低くする必要はありません! 私は教えることが好きです。提案16はK-12を完全に混乱させてしまうでしょう。」

私たちを分裂させないでください。団結しましょう。反対に一票を!

TOM CAMPBELL、前学長

University of California, Berkeley (カリフォルニア大学バークレー校) ハース・スクール・オブ・ビジネス

LEO TERRELL、人権弁護士

KALI FONTANILLA、公立高校教師

★ 提案16の反対意見 ★

California州議会は、有権者が州憲法から「州は、公共雇用、公共教育または公共契約の運営において、人種、性別、肌の色、民族性または国籍を理由として、いかなる個人またはグループを差別したり、優遇したりすることはない」という重要な文言を削除することを望んでいます。

そんなことを許してはいけません！反対に一票を。

これらの文言は、1996年にCalifornia州の有権者が提案209として賛成したもので、このまましっかりと維持されるべきものです。誰もを平等に扱うことによって、California州のように素晴らしく多様性に溢れた州は、すべての人に対する公平性を維持できます。

反対は後戻りへの一歩

この種の差別は有害です。団結が絶対に必要なときに、私たちを分断します。政治家は自分のお気に入り人を優遇したがっています。California州議会は、人種的マイノリティや女性に対する過去の差別を、他の人種的マイノリティや何も間違っていない男性を差別することで「解決」できると考えています。無実の人々を不当に扱うことは、終わりのない憎しみを生むだけです。差別をやめる唯一の方法は、差別をやめることです。

本当に必要な人に支援を

すべてのアジア系アメリカ人や白人が優位ではありません。すべてのラテン系や黒人が不利でもありません。私たちの州では、あらゆる人種や民族の男女が成功しています。マイノリティや女性は特別に優先しなければ成功できない、という固定概念を捨てましょう。

同時に私たちの州には、より多くの機会を活用したいと考えるあらゆる人種や民族の男女も存在します。現行法は、人種、性別、肌の色、民族性または国籍を理由として差別をしたり、優遇したりしない限り、この種の「アフターマティブ・アクション」を認めています。

例えば、州の大学は、低所得家庭の学生や家族の中で大学に初めて進学する学生を支援できます。州は、低所得

者が開業した小事業を支援したり、就業機会でも低所得者を優遇したりできます。

しかし、州憲法からこれらの文言が削除されたら、University of California（カリフォルニア大学）は入学選考において、農家の娘ではなく、裕福な弁護士の子を「少数」グループ出身であるとして、優遇できるようになります。これこそ不公平です。

納税者に機会を提供する

提案209の可決以前は、California州や多くの地方政府は、公共契約において事業主の人種、性別、民族性に基づいた優遇対応を必要とする、費用の掛かる官僚主導の仕組みを維持していました。最も資格の低い入札者は拒否される可能性もありました。University of California（カリフォルニア大学）の経済学者による詳細な査読付き研究から、提案209発効後の二年間で、提案209に準拠したCalTrans契約は、これに非準拠の契約を上回る5.6%の費用を削減したことが明らかになっています。他の政府関連の契約での費用削減もこれに近い結果であれば、この憲法の条項の廃止によって、数十億ドルもの負担が納税者に課せられる可能性があります。

平等の権利は基本

人種、性別、民族性または国籍に基づく優遇対応の禁止はアメリカ人の信条の根幹です。これは今を生きる私たち全員、そして将来の世代のために、憲法に記されています。これを捨て去ってはなりません。

反対に一票を。

WARD CONNERLY、代表

Californians for Equal Rights

GAIL HERIOT、法学部教授

BETTY TOM CHU、前California州憲法改訂委員

★ 提案16の反対意見に対する反論 ★

Californiaの価値を守りましょう。差別に立ち向かいましょう。

California州住民は、性別、見た目、生まれた場所に関わらず、だれもが成功するための平等な機会に値することに同意しています。私たちは、女性が男性と同様に支払われるべきであること、生い立ちや肌の色に関係なく、すべての子供に素晴らしい学校に通う価値があることに同意します。

反対者は自分たちがCaliforniaの将来を案じていると、虚偽の主張を行っています。事実、反対者の主張は私たちを後戻りさせるものです。

利益の多い契約が少数の裕福な事業に回されるため、女性や様々な肌の色の事業主は、毎年\$11億を失っています。男性の1ドルの稼ぎに対して、女性が稼ぐのは80セントです。様々な肌の色の女性の場合、この金額はさらに少なくなります。

すべての人に平等な機会を拡大し、構造的な人種差別を積極的に撲滅して、Californiaが前進するための唯一の方法は提案16の可決です。

提案16を可決することで、California住民は以下を行えるようになります。

• 平等な機会への障害を取り除き、あらゆる形式の差別の排除に取り組む

- 性別による賃金差別に対抗する
- 白人以外の女性に仕事での昇進やリーダー職への平等な機会を提供する
- 女子児童に向けて科学技術分野でのキャリアと教育の機会を拡大する

提案16に賛成票を投じることで、California州は機会の平等に向けた取り組みで他の42州に加わることができます。

California州住民として、私たちは多様性と公平性の価値を信じています。また、差別を終わらせること、平等を推進することがそのための正しい行いだと理解しています。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による不確実な時期においても、提案16に賛成することで、私たちの価値観を反映した未来のCaliforniaを築くことができます。

提案16に関する情報はVoteYesOnProp16.orgでご確認ください

E. TOBY BOYD、代表

California Teachers Association（California州教員組合）

NORMA CHAVEZ-PETERSON、事務局長

ACLU of San Diego and Imperial Counties

DR. BERNICE A. KING、CEO

The Martin Luther King, Jr. Center